

小松市 スマイルハート賞



児童・生徒が主体的に取り組んでいる善行を表彰するものです。人を思いやる気持ちや素直な心、地道に努力することの大切さを伝え、活動の裾野を広げていくことを目的としています。

小松市立芦城中学校生徒会

「芦城STEP UP 三ヶ条」に基づき、あいさつ運動や玄関前のメッセージボードなど学校をより良くする活動を続けている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、医療従事者への感謝と応援のメッセージを届ける取り組みや福祉施設へ手作りマスクの寄贈を行った。



小松市立松陽中学校生徒会

毎朝のあいさつ運動のほか、全校集会や離任・新任式での司会進行など、全校生徒の模範となる活動を行うことで自己意識の向上に大きく貢献している。さらに、制約のある中でも学校行事をより充実した内容にするための提案も意欲的に行っている。



小松市立板津中学校生徒会

児童生徒主体の取り組みとして、板津校区内の3小学校と連携し、インターネットの使い方について議論するサミットを開催。また、新型コロナウイルス感染拡大を受け、市内3施設へ医療従事者への感謝と応援のメッセージや手作りマスクの寄贈を行った。



小松市立苗代小学校児童会

コロナ禍で行事が中止される中で自分たちにできることを考え「あいさつを10万人から返してもらおうPROJECT」を実施。あいさつの輪が広がり、全校生徒や地域をつなぐ活動になっている。



小松市立国府小学校児童会

学校伝統のあいさつ運動を引き継ぎ「いつでも・どこでも・何度でも」を合言葉にあいさつ運動が広がるように働きかけている。また、学期ごとの児童集会「やかた集会」では、全校児童の温かい交流の場となるよう自主的に力を合わせて活動している。



小松市立中海小学校6年生

コロナ禍でも思い出に残る活動をしたいと、花火打ち上げプロジェクトを企画し、アルミ缶回収で資金づくりを行った。ポスター作成や全校生徒・保護者への呼び掛けで「中海地区を元気づけたい」という思いが広がり、地域住民を巻き込んだ大きな活動となり地域活性化につながった。

令和2年度社会教育賞・スマイルハート賞表彰式 ※感染症拡大防止のため、関係者のみで行います。

とき 2月13日(土)10時15分～ ところ 市民センター 小ホール

令和2年度 受賞おめでとうございます

問い合わせ 青少年育成課 ☎24・8128

小松市 社会教育賞

小松市の社会教育の振興に尽力し、地域社会の発展に貢献された人のうち、功績顕著な人をたたえ表彰するものです。

(敬称略)

後藤 英司 (桜木町)



平成3年から町公民館、校下公民館、小松市公民館連合会、石川県公民館連合会役員などを歴任し、長きにわたり公民館活動のけん引と充実発展に尽力した。

生水 茂 (滝ヶ原町)



「こまつSATOYAMA協議会」の会長を平成22年の発足当初から務めるなど、小松の豊かな里山を生かした地域づくりに取り組む様々な団体を有機的に連携させ、里山資源の保全と地域振興を実現するために尽力している。



松居直コレクションプロジェクト

児童文学者・松居直氏より寄贈された資料を継承するとともに絵本文化を研究し、展覧会や講演会の定期開催により絵本の魅力を広く市民に伝えている。平成18年の空とこども絵本館開館当初から松居直氏との交流を重ねて絵本文化の研究を深め、また地域文化を守り育てる活動にも尽力している。



小松サマースクール実行委員会

高校生を対象に、英語力やグローバルな視点による課題発見・解決の能力育成を目的とした夏季合宿プログラムを開催。日米の大学生リーダーを中心に運営され、世代や学校、国を超えた多様性の中で若者が将来を考える機会を提供し、地方発のグローバル人材育成に貢献している。



特定非営利活動法人 ふるさと小松検定

平成17年度、石川県立小松商業高校の課題研究として、生徒のふるさと教育推進と市民の郷土理解を深めることを目的に初級・中級コースからなる検定を開始。平成20年にNPO法人となり、地域で連携しながら年々内容を充実させ、市民の学びの意欲に応えるため研さんを続けている。

写真撮影時のみマスクを外しています。